

はじめに

次世代育成支援行動計画は、少子化の進行や雇用・経済情勢などの変化が著しい社会において、子どもを生き育てる環境への様々な課題に取り組むため、市民が共に支えあい、安心して子育て・子育てができるまちづくりを進めるため、平成17年3月に策定しました。

この計画は、国が平成15年に定めた「次世代育成支援対策推進法」に基づき、市町村に策定が義務付けられ、前期5年、後期5年とする計画です。

その前期計画となる「子育て子育て応援プラン」では、すべての子どもと子育て家庭が育ちあう共創の支援などを目標として、地域子育て支援システムづくりや保育サービスの拡充などを重点課題として取り組んでまいりました。

平成22年度からスタートする後期計画「こども・あいプラン」では、待機児童の解消や要保護児童対策を進めるほか、「子ども支援」に着目し、子どもの最善の利益の保障を、全ての子ども施策に通ずる基本視点として捉え、庁内はもちろんのこと地域と協働で取り組む、子ども施策の総合計画として策定しました。

未来のまちの礎となる子どもの自立を、地域社会で支え、育てていくことは我々大人の責務であり、安心して子育て・子育てができるまちの姿は市民の願いです。

全ての子ども未来が、平和で、夢と希望に満ちたものであることを願い、この計画のもと、地域の皆様のご理解とご協力を頂きながら、施策等に取り組んでまいります。

終わりに、いしかり子ども総合支援会議委員の皆様をはじめ、基礎調査などにご協力頂きました市民や関係機関の皆様から感謝を申し上げますとともに、この計画を通じて、本市の子育て・子育てへのさらなる議論の契機となることを切に願いたいと存じます。

平成22年3月

石狩市長 田岡克介